

平成30年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：福祉センター錦溪苑

指定管理者名：社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	B	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	0	0	0	0	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	61,733,000	61,733,000	0	62,733,000	
	その他収入	0	0	0	0	
	収入総額	61,733,000	61,733,000	0	62,733,000	
支出	人件費	22,314,000	22,833,938	(519,938)	21,534,428	
	賃金	1,456,000	1,280,422	175,578	1,269,475	
	報償費	511,000	542,600	(31,600)	523,713	
	消耗品費・器具什器費	378,000	706,447	(328,447)	1,070,599	
	燃料費	418,000	434,246	(16,246)	380,365	
	印刷製本費	39,000	0	39,000	14,000	
	光熱水道費	13,400,000	11,166,277	2,233,723	12,014,733	
	修繕費	250,000	623,416	(373,416)	1,940,430	
	委託料・保守料	17,160,000	17,275,828	(115,828)	17,353,208	
	役務費	601,000	585,427	15,573	866,701	
	賃借料	5,206,000	5,408,694	(202,694)	5,468,986	
	支出総額	61,733,000	60,857,295	875,705	62,436,638	0
	収支差額	0	875,705	(875,705)	296,362	0

3. 総合評価

自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ○多様化するニーズに対して、利用者にアンケートを行い、様々な事業を展開し、高齢者の生きがいづくりや、障がい者の外出促進、母子家庭の利用の促進に努めた。（センターまつり、教養講座、ロビーコンサート、センタークラブなど） ○当事者団体や地域団体で構成する運営委員会を開催し、意見を集約し、事業に活かした。 ○理学療法士による健康運動教室や看護師による血圧測定、医師による健康相談（福祉なんでも相談）を行い、健康増進に努めた。 ○施設ボランティアにも取り組み、センターまつり前にスリッパの清掃を行った。 ○河内長野警察署と協働で高齢者などを狙った特殊詐欺が急増していることから、防犯チラシ配布を行うとともに、利用者個々にも注意を呼びかけ防犯意識の向上に努めた。 ○保健所からの立ち入り検査の結果、適切に管理されているとの評価を得た。 ○台風の影響で屋根の一部がはがれたため、応急処置は施しているが、ヘルストロン室が使用できない状態が続いている。施設全体の老朽化が進んでいることから平成31年度に屋根の全面張り替えを市とともに進行。
市評価
<ul style="list-style-type: none"> ○利用者のニーズを把握するためにアンケートを行い、様々な事業を実施している。また、新規利用者へのPR活動を行うことで、利用者の拡大を図っている。 ○施設等の維持管理に関しては、設備の保守・点検を適切に行い、修繕等が必要な場合は市と指定管理者で協議をしながら適切に行っている。屋根の修繕については来年度市が行う。 ○台風で屋根の一部が剥がれ、雨漏りが発生し、ヘルストロン室が使用できなくなったが、設備の配置検討など利用者へ配慮して運営を行っている。 ○利用者の健康増進を図るために、理学療法士や看護師による健康運動教室、血圧測定を行っている。また、利用者の心のケアを図るため、医師やケアマネージャー、地域CSWIによる福祉なんでも相談を行っており、利用者の健康増進に努めている。 ○災害時には避難所を開設し、自主避難者の受入れを行い、市民の安全安心に努めている。 ○市職員による会計検査に加え、指定管理者独自で外部の会計士による検査を実施しており、財務管理を適正に行っている。 ○定期的にセンター長会議を開催し、市及び市内の福祉センター間の情報共有に努めている。